

留学先大学： パリ第2大学（パンテオン・アサス）  
 留学先での所属学部・研究科： 政治学部  
 留学先での在籍身分： 交換留学生  
 留学期間： 2014 年 1 月～ 2015 年 2 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 法学部  
 学年（出発時）： 3  
 本報告書記入日： 2014 年 4 月 29 日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

キャンパスフランス、フランス大使館HP、パリ第2大学のHP  
フランスへ留学していた先輩からの情報。

## 住居について

- ・住居のタイプ：  大学寮  アパート  ホストファミリー  その他（具体的に） \_\_\_\_\_  
住居（寮、アパート）の名前： CIUP Maison du Cambodge
- ・部屋の種類：  一人部屋  二人部屋  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：  現地学生  留学生（出身国： \_\_\_\_\_）  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：  大学の斡旋  自分で探した  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段： RER B線 15分
- ・住居の周りの環境はどうか。：

シテ・ユニヴェルシテ（以下シテ）の中に食堂や銀行、図書館などが揃っており快適。またシテのある14区は住宅街で治安も良い。RERやトラム、少し歩けば地下鉄の4番も利用でき、パリ中心街までは15分程度。スーパーが少し遠いのが難点。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

シテの食堂、自炊

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

周りの留学生と渡航時期がずれていたため、割りと見つかりやすかった。しかしシテの入居が2月以降だったので、渡航後2週間弱は短期貸しのアパートを借りて生活していた。また、シテの入居期限が8月末までなので、9月からの住居をまた探さなければならない。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：  出発前  到着後
- ・履修登録の方法：  On-line  International Office等の仲介  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：  無し  有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：  はい  いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Relations Internationales	M. J-J Roche	3	4	150	テストはQCM（選択式）の90分
2	Relations Internationales 2	M. J-V Holeindre	3	9	15	下記のTDと合わせて9単位 テストは Dissertation（小論文）の3時間
3	Relations Internationales 2 (TD)	Mme. Morenkova	1.5		15	出席、レポート、発表が評価の対象
4	Maîtrise de la langue française (grammaire)	Mme. Sevestre	1.5		30	正規の授業ではないが、通年で60時間履修してテストに合格するとDiplomeがもらえる。基本的にフランス語の授業は上級者向け。（niveau C1とか）
5	Culture française et logique du discours(orales)	Mme. Bellamy	1.5		30	新聞記事を読みそれについて討論。
6	Maîtrise de l'expression écrite	Mme. Iynedjian	1.5		30	Dissertationの書き方について学ぶ。
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

パリ第2大学はフランス1の法学部を有し、現地学生、留学生どちらにも単位認定が厳しいことで有名です。大学の図書館はいつも沢山の人が溢れており、学生はいつもレポートやエクスポゼ（発表）に追われている印象があります。1年生のクラスはわいわいがやがやしていますが、2年生以上になるとぐっと雰囲気落ち着き、真面目に授業を受けている人ばかりです。基本的にレジメや板書は無いので、自分でノートを取ることが大切です。しかし、長い長いディクテをやるような感じで、集中力を持続させることがかなり大変だと思います。授業中に寝るなど論外です。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		Relations Internationales 2(TD)		Maîtrise de la langue française(14h-15h35)	Relations Internationales 2(14h-17h)	補講など	復習
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字～）

パリ第2大学は、留学生に厳しい大学（単位認定の他にも大学側が留学生の受け入れに慣れておらず、受入体制が整っていないなど）と先輩から聞いていましたが、年々改善されているようで、特に困ったことは無いです。

確かに授業は厳しく、ついていくのは大変です（フランス人学生でも大変なようです）。自分のフランス語力が低く、ノートを満足に取ることができないので、今期は教科書がある授業を選択しました。授業は録音し、友人たちからノートを借りて、なんとか理解するように務めています。日本人留学生も2人しかいないので（しかも学部が違う！）、大学内ではフランス語を使わざるを得ない状況です。自分にとってはなかなか大変な毎日ですが、この環境で学ばせていただけることにとても感謝しています。

フランスには以前訪れたことがあり、優雅なイメージだけではないフランスを分かっているつもりでしたが、実際に生活してみるとそれは想像以上でした。当たり前のことですが日本とはまるで異なり、パリの街の汚さ、治安の悪さ、予定通りに事を運ぶことの難しさ、日本以上に大きな貧富の差、社会の階層化などを実感します。日本の当たり前は全く通用しません。フランス人のあまりの適当さに、日本では割と適当な私でも「Pourquoi ça arrive? どうしてこうなるの?」と最初はストレスの溜まることが数多くありました。

しかし今では、そのおおらかさや日本にはない生活のゆとりなどがとても気に入っています。休日のお店が閉まっていることが多いので、公園でピクニックをしてのんびり過ごしたり、カフェで友達と延々と話したり。1分1秒を争って生活している日本と比べ、こちらの人は時間を贅沢に使うと思います。また、パリは他人の目を気にせず、より自分らしく生きることのできる場所だと思います。

こちらに来てから、一日一日がとても濃く長いと感じます。渡航から3ヶ月が経ち、生活にもだいぶ慣れ手の抜き方も覚えてしまいましたが、頑張りながら適度に生活にあそびを持たせて、留学生生活を満喫したいと思います。